

しなののうた

友よりの梅の花ある便り読み
夫身罷りし季の浮かぶなり

l.MI

杉田小百合

しなののうた

藪医者めと捨て台詞吐き病院を治らぬままに夫退院す

杉田小百合



しなののうた

梅の花を子らと愛でいし夫あるも逝きて年過ぐ四二年

l・M

杉田小百合

しなののうた

医師の告ぐ夫の余命は半年と一歳の子をしかと抱けり

杉田小百合



しなののうた

春よこい梅咲く頃に癒えるのを待つ夫の顔
いとおしく見ゆ



杉田小百合